

「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり ～富山型都市経営の構築～」

日時：10月12日(火) 16:50-18:35 (5限)

**国際学術総合研究棟4階SMBCホール(20名まで)に
おける対面授業とオンラインでの受講の併用**

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、前富山市長森雅志氏からお話を伺います。

富山市では、まちづくりの理念を「鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」とし、地域の拠点を「お団子」に公共交通を「串」に見立てた「お団子と串」の都市構造を目指しています。

このことから、公共交通の活性化、その沿線地区への居住推進、さらには中心市街地の活性化に取り組んでいます。

LRTの導入については、同市の中核的なプロジェクトであり、特に全国初となる本格的なLRT富山ライトレールの事例についてはリーディングプロジェクトでもあり、本プロジェクトの成功は同市のまちづくりの方向を決定づけたものです。加えて、昨年3月21日には富山港線と市内電車が接続し延長約15kmの路面電車ネットワークが完成しました。

本講においては、政策実施に伴う現場の状況を踏まえ、LRTの導入の経緯や政策実施に伴う状況を紹介し、コンパクトなまちづくりやLRT導入について多面的に考察を行います。

履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎します。(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加・アクセス出来ません。)

※ 対面授業を希望する学生は、下記アドレスまで、授業前日17時までに連絡すること。先着順に受け付けし、教室の定員を超えた場合にのみ個別に連絡する。

※ オンライン授業URLはITC-LMSで確認すること。また、資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に掲示する。

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット tppu@pp.u-tokyo.ac.jp



前富山市長
森 雅志 氏